

平成 19 年度

施設評価調書

施設の名称.....爪木崎自然公園

所管担当課.....産業振興課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	85
--------	----------	-----------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園		2 担当課 担当係	産業振興課 施設整備係		
3 所在地	下田市須崎字池ノ段 1235 番地 1 他 3 筆		4 設置年月	昭和 51 年 4 月 1 日		
5 総合計画の 位置付け	ヒト・モノ・コト の豊かな交流づくり		身近な生活環境づくり		公園	
	施 策 体 系		自然公園の整備		自然とふれあう場の整備	
	主 要 事 業		保健休養林整備事業		保健休養林の整備	
6 設置目的	すぐれた自然環境を保護し、かつ、市民の健全な憩いの場として活用するため					
7 設置根拠	下田市保健休養林爪木崎自然公園設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 350,000 m ² 土地所有者：須崎財産区(無償貸与) 下田市須崎字池ノ段 1235 番地 1・1236-1・1237-1・1237-3				
		施設 管理事務所・休憩所・便所・駐車場 遊歩道				
	実 施 事 業 の 概 要					
	料 金 体 系	料 金 区 分	有料施設：駐車場			
		主 な 料 金	駐車場 1日 二輪車 100円 普通車 1,000円 大型 1,500円 有料供用期間 7月1日から8月31日 有料供用時間 午前8時から午後5時			
		減 免 内 容	(使用料の免除) 第10条 市長は、第7条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、 使用料を免除することができる。 (1) 市が使用するとき。 (2) 前号に掲げるもののほか、市長が適当と認めるとき。			
		利用料金制度		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
	施 設 運 営 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営				
指定管理者制度		指定管理者				
直接従事職員	一部委託		委託内容			
	下田市職員数 委託団体職員数					
9 市内の 類似施設	下田市所有					
	民間所有					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	85
--------	----------	-----------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格ゼロ ・耐用年数 年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費		建物減価償却後残高			
	建設事業費	90,000,000				
	財源内訳					
	県支出金	30,000,000				
	市債		市債残高		0	
	一般財源	40,000,000				
	寄附金等	20,000,000				
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H16 年度決算	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度予算
	収入	駐車場使用料	3,694,700	4,497,800	3,739,100	3,710,000
	収入合計		3,694,700	4,497,800	3,739,100	3,710,000
	支出	1 節 報酬	52,000	40,000	0	48,000
		7 節 賃金	0	0	834,600	1,124,000
		11 節 需用費	10,132	310,263	81,900	1,366,000
		12 節 役務費	159,689	216,745	118,882	437,000
		13 節 委託費	4,883,718	4,425,075	0	99,000
		14 節 使用料及び賃借料	288,540	288,540	0	0
		15 節 工事請負費	0	0	0	0
		16 節 原材料費	0	50,190	0	30,000
		22 節 補償補填及び賠償金	0	0	0	1,000
	27 節 公課費	0	8,800	0	0	
	支出合計		5,394,079	5,339,613	1,035,382	3,105,000
	人件費					
減価償却費						
市債利子						
下田市負担年間総経費						
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額) 減価償却費は、初期投資のうち国庫・県負担分を控除した額を基礎としている。					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H16 年度決算	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度
		利用者数	17,211 人	19,731 人	17,493 人	18,060 人
		参考:利用単位当たり市負担額	313 円	270 円	59 円	172 円
	開場日	指定無し				
	使用時間	指定無し				
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	85
--------	----------	-----------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数 の目標値	人	20,000	20,000	20,000	
	" の実績	人	17,211	19,731	17,493	
	目標達成度	%	78.30	86.05	87.47	
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 市民の健全な憩いの場であり、温室や花園には地域経済の支えとしての役割も有している。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	駐車場入場者数	維持管理費への充当			
		自然環境保護と花園等維持管理	地域経済の支えとなる			

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	駐車台数	目標値	台	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	台	3,737	4,577	4,765	
			達成度	%	74.74	91.54	95.3	
	目標指標の考え方	目標値の算定:過去の最大値である平成17年度駐車台数の10%アップを目標値とする。5000台						
活動指標	目標指標	利用者数	目標値	人	26,000	26,000	26,000	26,000
			実績値	人	17,211	19,731	17,493	
			達成度	%	66.19	75.88	67.28	
	目標指標の考え方	目標値の算定:過去の最大値である平成14年度利用者数の30%アップを目標値とする。26,000人						
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市保健休養林爪木崎自然公園

番号 85

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人	17,211人	19,731人	17,493人	18,060人
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	5,394,079	5,339,613	1,035,382	
	利用単位当たり経費	÷	円/人	313円/人	270円/人	59円/人	
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円			
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円			
	受益者負担比率	÷	%			
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円			
	補正受益者負担比率	÷	%			

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	85
--------	----------	-----------------	----	----

施設の現状分析

下田市公共施設利用推進協議会(平成17年4月12日提出資料:農林水産課作成)

判断視点項目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	須崎半島における、自然環境を保護し、市民の健全な憩いの場と、多くの観光客が訪れている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	夏以外は、無料駐車場を有し、保健休養林の散策など出来る。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	下田市における、観光の目玉でもあり、水仙祭りや夏の海水浴などと深く関係があり、なくてはならない施設。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画は怎么样了なっているのか	昨年度の台風等により、四阿の屋根等の破損があったが、予算の関係により、修理されていない部分もある。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	地元須崎区と下田市において運営にあたり、いい関係にあると思われる。利用者の情報交換は公社職員において周知徹底。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	須崎区の意見も取り入れ、競合しないよう協議し運営されている
		民間においても十分可能な施設なのか	民間における運営において、地元須崎区より、施設競合や運営面について不信感があるとの申し出あり
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	夏の駐車場での使用料徴収であり、この経費を夏の誘客による車の渋滞緩和に使用している。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	下の須崎区駐車場も使用料徴収あり、比較して妥当であると思われる。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いが怎么样了なっているのか	年間計画と比べると、やや少ないがおおむね計画に沿っている。
		施設の耐用年数は何年有るのか	管理棟建設がS51・・29年経過
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	管理棟は老朽化にており、今後維持経費はかかるが、使用形態が事務所だけ。

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	85
--------	----------	-----------------	----	----

施設の現状分析

下田市公共施設利用推進協議会(平成17年4月12日提出資料:農林水産課作成)

判断視点		項目	施設の状況
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	公社委託料は、必要経費である。人件費については、削減すれば当然、管理範囲が狭められ、全体管理が難しい。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	須崎区と公社職員、及び下田市との関係はうまくいっており、管理運営面でいえば適切であると考えられる。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	爪木崎の管理運営でいえば、バランス的には適正と思われる。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	下田公園や敷根公園など、現在も公社職員において連携し管理運営している状況。
老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか		管理棟においては、小修繕にとどめ、将来的には取り壊しが必要と思われる。	
地域、民間に譲渡できないのか		地域(須崎区)よりの、地元優先の要望が強く、今後十分な協議が必要と思われる。	
	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	難しい。	
その他			

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市保健休養林爪木崎自然公園

番号 85

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	
	受益者負担の妥当性	
	実施主体の妥当性	
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
調査等	アンケート調査等の結果	
	サービス面等	
	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	管理委託制度の条例を改正する。平成17年9月議会直営の管理運営とする。

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市保健休養林爪木崎自然公園

番号 85

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	トイレの修繕	未調査	
2	アズマ家修繕	未調査	
3	遊歩道の整備	未調査	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	充実	(具体的な内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	